

耐寒性が強く、低温伸長性・低温肥大性に優れる、肉質の良い冬どり用青首ダイコン!

(カネコ交配)

ダイコン

じゅん

順

とう

冬

Radish, Juntou Hybrid



カネコ種苗株式会社  
TEL. 027(251)1611(代)

耐寒性が強く、低温伸長性・低温肥大性に優れる、肉質の良い冬どり用青首ダイコン!

(カネコ交配)  
ダイコン 順冬

Radish, Juntou Hybrid

●特 性●

- (1) 根形は尻詰まりの良い総太り型で、低温伸長性・低温肥大性に優れます。適作型での根長は37cm程度となります。
- (2) 首部は淡い緑色、肌は滑らかで、ひげ根は細く、肉質は緻密です。また、肉質は緻密で、首内部の変色(青肉)にもなりにくいです。
- (3) 草姿は立性、草勢はやや強いです。
- (4) 耐寒性が特に強く、葉の黄化や根の表皮の剥離は少ないです。
- (5) 作型は暖地と中間地の9月末～10月上旬まき、1～2月どり栽培に適します。中間地で1月以降に収穫する場合は12月以降にべたがけ被覆を行うことが望ましいです。

●栽培要点●

- (1) 排水の良い畑が望ましい。  
作土が深く、排水の良い畑にするために深耕ロータリーやサブソイラーの利用が効果的です。また、有機物の施用や緑肥の利用などによる土壌の物理性の改善も重要です。
- (2) 栽植密度  
1月～2月どりで畝間48cm、株間22cm(約9,500本/10a)程度を標準とします。極端な密植は生育の不ぞろいにつながりますので注意します。
- (3) 施肥  
N:P:K=6～8:10～15:10～15kg/10a(成分量)程度を標準としますが、前作の残肥や土壌の肥沃度を考慮し

て調整します。1月以降の収穫では、上記の施肥量に加えて追肥を1、2回行い、肥料切れに注意します。また、微量元素の施肥は十分に行います。

(4) 病害虫防除

萎黄病の発生したことのある圃場では作付けを避けるか、作付け前に土壌消毒を行うようにします。

播種時に粒剤(殺虫剤、殺菌剤)を土壌混和し、ピシウム腐敗病、キスジノミハムシやタネバエなどの病虫害を予防します。

また、間引き前後(本葉4～5枚程度)から数回、殺菌剤と殺虫剤を散布し、わか病、アブラムシ、コナガなどの病虫害を防除します。

未熟な有機物は病虫害の発生を助長する場合がありますので、堆きゅう肥施用や緑肥のすき込みは、最低でも播種の1ヵ月以上前に行うよう注意します。

●栽培作型●

	9	10	11	12	1	2
中間地	○	○		■	■	■
暖地	○	○		■	■	■

○ 播種期 — 生育期 ■ 収穫期

カネコ種苗株式会社

〒371-8503 前橋市古市町1-50-12  
TEL. 027(251)1611(代)

一般社団法人  
日本種苗協会  
登録番号 10001号

取扱店